

## 鋼製ドラムの資源循環を紹介するPR動画を公開

— 高いリユース性とリサイクル性による資源循環の仕組みを発信 —

ドラム缶工業会と日本ドラム缶更生協同組合は、鋼製ドラムの資源循環を紹介するPR動画「循環型社会へ貢献する鋼製ドラム — 高いリユース性とリサイクル性を活かした産業容器 —」を共同で制作し、このたび公開しました。

本動画では、鋼製ドラムの製造工程からリユース、リサイクルに至る資源循環の仕組みを分かりやすく示すとともに、鋼製ドラムが循環型社会の実現に果たす役割について紹介し、その優れた資源循環性への理解を広く深めていただくことを目的としています。なお、本動画の作成にあたり、経済産業省 製造産業局 金属課長よりメッセージをお寄せいただき、動画の末尾に収録しております。

### 【動画概要】

鋼製ドラムは、石油・化学・塗料・食品など幅広い産業分野で使用される産業容器であり、国際規格(ISO)およびJIS規格に基づき製造されています。また、危険物輸送にも使用される安全性・信頼性の高い容器です。

鋼製ドラムは、①世界的に統一された規格、②高い安全性・信頼性、③鉄素材の特性を活かした高いリユース性・リサイクル性という三つの特長を備えています。

使用後の鋼製ドラムは回収され、内部洗浄や形状補正を行うことで再利用(リユース)されます。国内には回収・再生ネットワークが整備されており、約6割という高いリユース率を実現しています。また、再利用が終了したドラムは鉄スクラップとして再資源化され、新たな鉄鋼製品の原料として活用されるなど、ほぼ100%リサイクルされます。

こうした取り組みは、化学産業などで進められている環境・安全・健康を重視した自主的活動「レスポンシブルケア」の理念にも合致しています。また、限りある貴重な金属資源を大切に使いながら、製造(動脈)と回収・再生・再資源化(静脈)の産業連携を通じて、「サーキュラーエコノミー」を拡大し、持続可能な社会の実現に貢献しています。

■本動画は以下の2次元コードよりご視聴いただけます。

